



2024年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2024年5月10日

上場会社名 アシードホールディングス株式会社
コード番号 9959 URL <https://www.aseed-hd.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河本 大輔

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員経営企画グループ (氏名) 川崎 弘敬

TEL 084-923-5552

定時株主総会開催予定日 2024年6月26日

配当支払開始予定日

2024年6月27日

有価証券報告書提出予定日 2024年6月26日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期の連結業績(2023年4月1日~2024年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	23,260	9.6	767	13.6	1,038	12.0	768	27.6
2023年3月期	21,228	10.1	675	4.3	926	2.5	602	237.3

(注) 包括利益 2024年3月期 910百万円 (35.6%) 2023年3月期 670百万円 (206.3%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	62.67		12.5	5.8	3.3
2023年3月期	51.22		11.2	5.8	3.2

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 199百万円 2023年3月期 218百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	18,928	6,630	35.0	539.66
2023年3月期	16,576	5,620	33.9	477.61

(参考) 自己資本 2024年3月期 6,630百万円 2023年3月期 5,620百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	1,690	988	206	1,570
2023年3月期	1,136	1,678	748	1,067

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期		8.00		8.00	16.00	164	31.3	3.5
2024年3月期		8.00		9.00	17.00	192	27.1	3.3
2025年3月期(予想)		9.00		9.00	18.00		27.6	

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,000	11.8	950	23.8	1,150	10.8	800	4.1	65.23

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期	13,495,248 株	2023年3月期	13,495,248 株
期末自己株式数	2024年3月期	1,209,618 株	2023年3月期	1,726,963 株
期中平均株式数	2024年3月期	12,264,197 株	2023年3月期	11,762,317 株

(参考)個別業績の概要

2024年3月期の個別業績(2023年4月1日～2024年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	813	11.4	209	26.9	342	100.4	381	145.6
2023年3月期	729	2.8	165	27.8	170	44.6	155	39.4

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期	31.11	
2023年3月期	13.21	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	10,360	3,922	37.9	319.28
2023年3月期	9,377	3,372	36.0	286.58

(参考) 自己資本 2024年3月期 3,922百万円 2023年3月期 3,372百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	13
(セグメント情報)	13
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の規制解除による人流の増加やインバウンド需要の回復により、景気は持ち直しの動きを示しています。一方で、電気などエネルギー価格の上昇や人件費の負担の増加によるコスト増加などが、今後懸念されています。

この環境下において、当社グループは、「ASEEDING THE FUTURE 人、地球、未来 — すべての笑顔と健康のために」の実践に向けて更新した「中期経営計画」に基づき、ブランド創造企業への挑戦、既存事業の構造改革、M&Aによるグループ強化、新規事業・海外事業の強化を中心とした成長の加速に取り組んでいます。

この結果、当連結会計年度の経営成績は、売上高23,260百万円（前年同期比9.6%増）、営業利益767百万円（同13.6%増）、経常利益1,038百万円（同12.0%増）、親会社株主に帰属する当期純利益768百万円（同27.6%増）となりました。

なお、当連結会計年度の経営成績につきまして、2024年2月9日公表の「2024年3月期通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」で公表しました通期の連結業績予想に対して未達となりました。主な要因は2024年2、3月の降水量が東日本、西日本ともに例年よりかなり多く、飲料市場全体の需要が低迷したことによるものであります。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。なお、売上高は外部顧客への売上高を記載しております。

(自販機運営リテイル事業)

自販機運営リテイル事業におきましては、生産・物流コストの高騰に対して業務の見直しによる生産性の向上や売価の適正化により収益性の改善に取り組むとともに、M&Aの一環として東北地区や北関東地区で計1,000台以上の自販機営業権の譲受を実施しました。グループの既存の自販機網に譲受した自販機を組み込み、効率的な運営を目指します。

自社ブランド商品におきましては、2024年2月に黒酢を使用したカシス味のリフレッシュドリンク

「SU:RESH (スレッシュ)」を発売した他、2024年3月に国産果実のストレート果汁を使用したRTD商品の新たなブランドとして、アルコール分3%の創作カクテル「家バル (ファジーネーブル/モスコミュール)」と、アルコール分7%の無糖サワー「大人のCRAFT無糖サワー (沖縄 完熟シークワサー/愛媛 河内晩柑)」を発売するなど、当連結会計年度において新商品を8点、リニューアル商品を2点発売し、ブランド創造企業への取り組みを強化しました。

この結果、自販機運営リテイル事業の売上高は14,003百万円（前年同期比9.1%増）、セグメント利益は192百万円（前年同期比71.5%増）となりました。

(飲料製造事業)

飲料製造事業におきましては、原材料・資材・燃料費の高騰に対応した価格設定を行い、収益性の改善を進めると共に、炭酸缶ラインの東西2拠点体制による営業力の強化を推進しました。

設備投資として、アシードブリュー株式会社の宇都宮飲料工場の老朽化した排水処理施設の改修工事を実施し、処理水質を安定化・維持管理性を向上した他、省エネ化の取り組みとして同工場の屋上に太陽光パネルを設置しました。また、当連結会計年度に子会社化した静岡ローストシステム株式会社におきましては、茶葉の微粉碎加工の受注の増加を受け、微粉碎装置の増設を実施します。

この結果、飲料製造事業の売上高は8,871百万円（前年同期比10.7%増）、セグメント利益は845百万円（同0.9%減）となりました。

(不動産運用事業)

不動産運用事業におきましては、当社及びアオンズエステート株式会社を中心に所有不動産の運用を行っており、不動産運用事業による売上高は141百万円（前年同期比2.9%増）、セグメント利益は208百万円（同2.0%増）となりました。

なお、売上高はセグメント間の内部売上高219百万円を含めると360百万円となります。

(その他事業)

その他事業におきましては、グループ内物流の体制整備を進めており、その一環として2023年10月にアシードブリュー株式会社宇都宮飲料工場の物流業務をロジックイノベーション株式会社に移管しました。引き続き、グループ内各社の物流の内製化に向けて検討を続けております。

この結果、その他事業の売上高は243百万円（前年同期比2.2%増）、セグメント利益は14百万円（前年同期は2百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における流動資産は、7,062百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,365百万円増加しました。これは現金及び預金の増加492百万円、受取手形及び売掛金の増加828百万円、商品及び製品の増加122百万円及び流動資産のその他の減少75百万円等によるものであります。また、固定資産は11,866百万円となり、前連結会計年度末に比べ、986百万円増加しました。これは建物及び構築物（純額）の増加709百万円、機械装置及び運搬具（純額）の増加159百万円、リース資産（純額）の減少98百万円、建設仮勘定の減少15百万円、のれんの増加16百万円、投資有価証券の増加251百万円、長期前払費用の減少69百万円及び投資その他の資産のその他の増加35百万円等によるものであります。

この結果、総資産は18,928百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,351百万円増加しました。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債は8,880百万円となり、前連結会計年度末に比べ844百万円増加しました。これは買掛金の増加438百万円、短期借入金の減少580百万円、1年内返済予定の長期借入金の増加460百万円、未払金の増加21百万円、未払法人税等の増加127百万円、未払消費税などの増加119百万円及び流動負債のその他の増加217百万円等によるものであります。また、固定負債は3,418百万円となり、前連結会計年度末に比べ497百万円増加しました。これは長期借入金の増加482百万円及び固定負債の増加161百万円等によるものであります。

この結果、負債合計は12,298百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,342百万円増加しました。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は6,630百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,009百万円増加しました。これは親会社株主に帰属する当期純利益による増加768百万円、剰余金の配当による減少192百万円、自己株式の売却による増加269百万円、その他有価証券評価差額金の増加101百万円、土地再評価差額金99百万円及び為替換算調整勘定の増加39百万円等によるものであります。

この結果、自己資本比率は35.0%（前連結会計年度末は33.9%）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ502百万円増加し、当連結会計年度末には1,570百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、1,690百万円（前年同期は1,136百万円の獲得）となりました。これは主に税金等調整前当期純利益1,066百万円、減価償却費800百万円、仕入債務の増加額308百万円及びその他の負債の増加額211百万円等により資金を獲得する一方、持分法による投資利益199百万円、棚卸資産の増加額72百万円及び売上債権の増加額586百万円等により資金を使用したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、988百万円（前年同期は1,678百万円の使用）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出533百万円及び連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出655百万円等により資金を使用する一方、有形固定資産の売却による収入175百万円等により資金を獲得したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、206百万円（前年同期は748百万円の獲得）となりました。これは主に短期借入金の純減額580百万円、長期借入金の返済による支出1,009百万円、リース債務の返済による支出224百万円及び配当金の支払額192百万円により資金をす一方、長期借入による収入1,800百万円により資金を獲得したことによるものであります。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、仕入商品や原材料・資材・燃料費の値上がりが続く中、グループ各社が得意分野を伸ばすとともに、相互のシナジー効果を高めブランド価値の創造と生産性の向上、適正な価格設定に取り組み、収益性の向上に取り組みます。また、2024年10月実施予定の組織再編にて、アシードブリュー株式会社及び宝積飲料株式会社を会社分割（吸収分割）し、販売部門と製造部門を機能別に再編する事で、各部門の強化・企業価値向上を目指します。

このような取組方針のもと、翌連結会計年度（2025年3月期）の連結業績見通しにつきましては、売上高26,000百万円、営業利益950百万円、経常利益1,150百万円、親会社株主に帰属する当期純利益800百万円を予想しております。

また、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は株主の皆様への利益還元を重要な経営課題と認識したうえで、事業の継続的な成長や資本効率の改善等による株主価値の向上に努めるとともに、配当性向水準は30%程度を目安に継続的に実施していくことを基本方針としております。

当連結会計年度の期末配当金につきましては1株当たり9円を予定しております。次期の配当につきましては、中間配当及び期末配当として1株当たり9円とし、年間配当金は1株当たり18円を予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの外国人株主比率は現在0.29%であり、当面は日本基準を採用することとしておりますが、今後の外国人株主比率の推移及び他社のIFRS採用動向を踏まえ、IFRSの適用について検討をすすめていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,077	1,570
受取手形及び売掛金	2,654	3,482
商品及び製品	834	957
原材料及び貯蔵品	258	292
前払費用	188	151
その他	684	609
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	5,696	7,062
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,949	6,117
減価償却累計額	△3,112	△3,571
建物及び構築物(純額)	1,836	2,546
機械装置及び運搬具	5,245	6,563
減価償却累計額	△2,705	△3,864
機械装置及び運搬具(純額)	2,539	2,699
工具、器具及び備品	244	284
減価償却累計額	△197	△231
工具、器具及び備品(純額)	46	52
土地	3,833	3,821
リース資産	1,610	1,266
減価償却累計額	△1,177	△932
リース資産(純額)	432	334
建設仮勘定	81	66
有形固定資産合計	8,771	9,520
無形固定資産		
のれん	155	171
ソフトウェア	51	51
リース資産	36	21
その他	23	25
無形固定資産合計	267	270
投資その他の資産		
投資有価証券	1,179	1,430
長期前払費用	265	195
繰延税金資産	53	69
その他	387	423
貸倒引当金	△44	△44
投資その他の資産合計	1,841	2,075
固定資産合計	10,880	11,866
資産合計	16,576	18,928

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,357	2,795
短期借入金	2,910	2,330
1年内返済予定の長期借入金	820	1,281
未払金	746	768
未払法人税等	106	234
未払消費税等	87	207
賞与引当金	140	180
その他	865	1,082
流動負債合計	8,035	8,880
固定負債		
長期借入金	2,275	2,757
再評価に係る繰延税金負債	—	34
退職給付に係る負債	142	148
その他	502	477
固定負債合計	2,920	3,418
負債合計	10,955	12,298
純資産の部		
株主資本		
資本金	798	798
資本剰余金	1,012	1,034
利益剰余金	5,046	5,523
自己株式	△900	△630
株主資本合計	5,957	6,726
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	32	134
土地再評価差額金	△462	△363
為替換算調整勘定	93	133
その他の包括利益累計額合計	△336	△96
純資産合計	5,620	6,630
負債純資産合計	16,576	18,928

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	21,228	23,260
売上原価	13,200	14,479
売上総利益	8,027	8,781
販売費及び一般管理費	7,352	8,014
営業利益	675	767
営業外収益		
持分法による投資利益	218	199
受取保険金	18	17
投資事業組合運用益	11	—
助成金収入	37	—
その他	82	114
営業外収益合計	369	330
営業外費用		
支払利息	32	33
支払補償費	48	—
その他	36	26
営業外費用合計	117	59
経常利益	926	1,038
特別利益		
固定資産売却益	9	68
その他	—	0
特別利益合計	9	68
特別損失		
固定資産除却損	17	39
減損損失	46	—
持分変動損失	14	—
特別損失合計	78	39
税金等調整前当期純利益	857	1,066
法人税、住民税及び事業税	239	331
法人税等調整額	14	△34
法人税等合計	254	297
当期純利益	602	768
親会社株主に帰属する当期純利益	602	768

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益	602	768
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4	101
持分法適用会社に対する持分相当額	64	39
その他の包括利益合計	68	141
包括利益	670	910
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	670	910

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	798	1,012	4,611	△910	5,512
当期変動額					
剰余金の配当			△164		△164
親会社株主に帰属する当期純利益			602		602
自己株式の処分		0		10	10
土地再評価差額金の取崩			△2		△2
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	0	434	10	445
当期末残高	798	1,012	5,046	△900	5,957

	その他の包括利益累計額				新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	28	△465	29	△408	0	5,104
当期変動額						
剰余金の配当						△164
親会社株主に帰属する当期純利益						602
自己株式の処分						10
土地再評価差額金の取崩						△2
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	4	2	64	71	△0	71
当期変動額合計	4	2	64	71	△0	516
当期末残高	32	△462	93	△336	—	5,620

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	798	1,012	5,046	△900	5,957
当期変動額					
剰余金の配当			△192		△192
親会社株主に帰属する当期純利益			768		768
自己株式の処分		22		269	291
土地再評価差額金の取崩			△99		△99
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	22	476	269	768
当期末残高	798	1,034	5,523	△630	6,726

	その他の包括利益累計額				新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	32	△462	93	△336	—	5,620
当期変動額						
剰余金の配当						△192
親会社株主に帰属する当期純利益						768
自己株式の処分						291
土地再評価差額金の取崩						△99
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	101	99	39	240	—	240
当期変動額合計	101	99	39	240	—	1,009
当期末残高	134	△363	133	△96	—	6,630

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	857	1,066
減価償却費	605	800
減損損失	46	—
持分変動損益 (△は益)	14	—
株式報酬費用	9	11
のれん償却額	15	19
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△13	△0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	14	22
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	8	5
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△35	—
受取利息及び受取配当金	△8	△12
支払利息	32	33
持分法による投資損益 (△は益)	△218	△199
固定資産売却損益 (△は益)	△9	△68
固定資産除却損	17	39
助成金収入	△37	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△231	△586
棚卸資産の増減額 (△は増加)	421	△72
長期前払費用の増減額 (△は増加)	82	118
その他の資産の増減額 (△は増加)	△72	54
仕入債務の増減額 (△は減少)	△225	308
未払消費税等の増減額 (△は減少)	0	106
その他の負債の増減額 (△は減少)	117	211
その他	△16	△8
小計	1,376	1,846
利息及び配当金の受取額	55	99
利息の支払額	△33	△32
法人税等の支払額	△337	△239
保険金の受取額	37	17
助成金の受取額	37	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,136	1,690
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△70	—
定期預金の払戻による収入	112	51
有形固定資産の取得による支出	△1,502	△533
有形固定資産の売却による収入	33	175
無形固定資産の取得による支出	△35	△31
投資有価証券の取得による支出	△50	△0
投資有価証券の売却による収入	1	54
子会社の清算による収入	17	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△207	△655
のれんの取得による支出	—	△25
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	23	△24
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,678	△988

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	430	△580
長期借入れによる収入	1,500	1,800
長期借入金の返済による支出	△709	△1,009
リース債務の返済による支出	△307	△224
配当金の支払額	△164	△192
自己株式の取得による支出	—	—
その他	△0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	748	△206
現金及び現金同等物に係る換算差額	8	6
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	215	502
現金及び現金同等物の期首残高	852	1,067
現金及び現金同等物の期末残高	1,067	1,570

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当連結会計年度において、当社が静岡ローストシステム株式会社及びそのグループ会社であるマルサン萩間茶株式会社の全株式を取得し、新たに子会社としたため、連結の範囲に含めております。

なお、みなし取得日を5月31日としており、かつ四半期連結決算日との差異が3か月を超えないことから、第1四半期連結会計期間は貸借対照表のみ連結し、第2四半期連結会計期間より損益計算書についても連結しております。

また、当連結会計年度において、ASEED(Thailand)Co.,Ltd.の清算が終了したため、持分法適用の範囲から除いております。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、自販機運営と飲料製造を中心とした複数の事業を営んでおり、その事業区分ごとに当社及び当社の連結子会社が単一もしくは複数の事業に従事する事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは「自販機運営リテール事業」、「飲料製造事業」、「不動産賃貸事業」及び「その他事業」の4つを報告セグメントとしております。

なお、それぞれの報告セグメントに含まれる主要な製品・商品及びサービスは以下のとおりであります。

- | | |
|-----------------|----------------------------------|
| (1) 自販機運営リテール事業 | : カップ飲料、缶・ボトル飲料、紙パック飲料、食品等の自動販売 |
| (2) 飲料製造事業 | : 炭酸・コーヒー系缶飲料、低アルコール飲料、茶葉等の製造・販売 |
| (3) 不動産運用事業 | : 不動産賃貸 |
| (4) その他事業 | : 倉庫、物流、環境 |

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。また、セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	自販機運営 リテイル事業	飲料製造事業	不動産運用事業	その他事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	12,836	8,015	137	238	21,228	—	21,228
セグメント間の内部 売上高又は振替高	10	404	218	35	669	△669	—
計	12,847	8,419	355	274	21,897	△669	21,228
セグメント利益又は損 失(△)	112	853	204	△2	1,168	△492	675
セグメント資産	4,082	8,604	1,877	1,088	15,652	923	16,576
その他の項目							
減価償却費	124	394	11	54	585	19	605
のれんの償却額	7	6	—	3	17	△1	15
減損損失	46	—	—	—	46	—	46
持分法適用会社への 投資額	—	687	—	—	687	—	687
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	96	1,695	18	2	1,813	24	1,837

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

- (1) 売上高の調整額△669百万円は、セグメント間の内部取引消去であります。
 - (2) セグメント利益又は損失(△)の調整額△492百万円には、セグメント間取引消去4百万円、のれんの償却額0百万円、各セグメントに配分していない全社費用△498百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
 - (3) セグメント資産の調整額923百万円には、各セグメントに配分していない全社資産977百万円とセグメント間取引消去△53百万円が含まれております。全社資産の主なものは、余剰運転資金(預金及び有価証券)及び管理部門にかかる資産等であります。
 - (4) 減価償却費の調整額18百万円は、各セグメントに配分していない全社資産に係るものであります。またのれんの償却額の調整額△1百万円は、各セグメントに配賦不能なものであり、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額24百万円は、各セグメントに配分していない全社資産の増加額であります。
2. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	自販機運営 リテイル事業	飲料製造事業	不動産運用事業	その他事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	14,003	8,871	141	243	23,260	—	23,260
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2	628	219	69	919	△919	
計	14,006	9,500	360	313	24,180	△919	23,260
セグメント利益又は損 失(△)	192	845	208	14	1,261	△494	767
セグメント資産	3,817	9,755	1,801	1,042	16,417	2,510	18,927
その他の項目							
減価償却費	100	613	10	53	778	22	800
のれんの償却額	3	15	—	3	22	—	22
減損損失	—	—	—	—	—	—	—
持分法適用会社への 投資額	—	839	—	—	839	—	839
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	59	544	6	1	612	25	638

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

- (1) 売上高の調整額△919百万円は、セグメント間の内部取引消去であります。
- (2) セグメント利益又は損失(△)の調整額△494百万円には、セグメント間取引消去1百万円、各セグメントに配分していない全社費用△495百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
- (3) セグメント資産の調整額は、主に各セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産の主なものは、余剰運転資金(預金及び有価証券)及び管理部門にかかる資産等であります。
- (4) 減価償却費の調整額22百万円は、各セグメントに配分していない全社資産に係るものであります。また、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額25百万円は、各セグメントに配分していない全社資産の増加額であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	477.61円	539.65円
1株当たり当期純利益	51.22円	62.67円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	602	768
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	602	768
普通株式の期中平均株式数 (千株)	11,762	12,264

(重要な後発事象)

該当事項はありません。